



くんねっぷ
HOKKAIDO KUNNEPPU TOWN

会 だより 議

167号

町有施設内の 設備の管理状況は

一般質問

6

ページ

発行 北海道訓子府町議会
編集 訓子府町議会広報特別委員会

二〇二〇年（平成三二年）十一月一日発行

9月定例会で審議した議案……………

ページ 2

所管事務調査を実施……………

ページ 12

道内先進地行政視察・議会広報研修会

ページ 13

議会の主なうごき／あとかぎ……………

ページ 14



NPO法人「福祉サポートきらきら本舗」法人化4周年感謝祭で余興を披露した通所者・職員

平成22年 9月 定例会 9月14日～9月15日まで

一般会計583万円を補正

平成22年度各会計補正予算については、原案のとおり可決されました。

一般会計(第2号)

歳入歳出予算から583万6千円を追加し、総額を39億6,376万6千円としました。

■主な歳出内容

- 財政調整基金積立金 930万4千円を追加
- 社会資本整備基金積立金 100万円を追加
- 国民健康保険特別会計繰出金 1,798万円を減額
- 国庫支出金等返還金(自立支援サービス事業) 468万2千円を追加
- 強い農業づくり事業(経営体の育成)補助金 150万6千円を計上
- 道営訓子府南部地区畑総事業負担金 300万円を追加
- 下水道事業特別会計繰出金 155万7千円を追加
- 有害鳥獣駆除事業
 - ・有害鳥獣狩猟免許取得補助金 6万円を計上
 - ・消耗品費(くくり罠10組) 9万円を計上

国保会計(第2号)

歳入歳出予算に1,668万円を追加し、総額9億1,088万8千円としました。

■主な歳出内容

- 退職被保険者等療養給付費 800万円を追加
- 退職被保険者等高額療養費 100万円を追加
- 国庫支出金返還金 767万円を追加
(H21年度交付分を返還)

後期高齢者会計(第2号)

歳入歳出予算に22万円を追加し、総額を6,311万円としました。

■歳出内容

- 健康診査助成金(脳ドック7件) 22万円を追加

下水道会計(第1号)

歳入歳出予算に755万7千円を追加し、総額を1億9,095万7千円としました。

■歳出内容

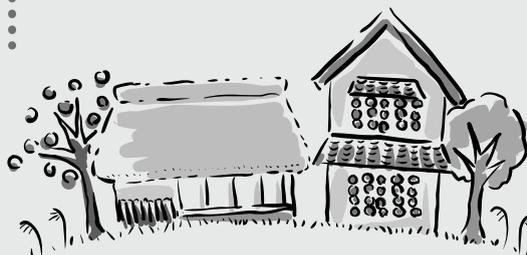
- 道道北見置戸線交通安全工事支障物件移設工事設計業務 200万円を計上
- 個別排水処理浄化槽設置工事(2基) 555万7千円を追加

水道会計(第1号)「追加」

資本的支出に1,380万円を追加し、総額を2億4,636万6千円としました。

■歳出内容

- 工事請負費(代替水源施設整備事業) 1,380万円を追加



補正予算の質疑応答

Q 強い農業づくり事業（経営体育成）補助金の内容は。

A 本事業は新規就農者が導入する農業用機械等に対する補助であり、2農業者が採択となっています。

1人は玉ねぎの自走式灌水機と播種機各1台、もう1人は乗用管理機1台で、導入費総額312万円に対し国から150万6千円が町を経由して補助されるものです。

Q 有害鳥獣駆除事業の補正内容とその効果は。

A 消耗品費の9万円については、鹿を捕獲するための「くくり罠」で貸出用として10組分の計上です。この罠を使うには狩猟免許が必要となります。

この免許取得のための講習会の受講料や免許申請手数料などを補助するため、有害鳥獣狩猟免許取得補助金とし5名分、6万円を計上するものです。

鹿の通り道を把握している被害農家の皆さんが自ら捕獲に取り組むことが鹿駆除の効果を高めることとなります。

そのことに期待し予算補正しようとするものです。

詳しくは、農林商工課まで問合せください。

過疎地域自立促進市町村計画策定等

◆過疎地域自立促進市町村計画の策定

原案可決

過疎地域自立促進特別措置法の一部を改正する法律の施行に伴い、訓子府町過疎地域自立市町村計画の延長計画を策定しました。

◆教育委員会委員の任命
原案同意

平成22年12月5日に任期満了に伴い教育委員会委員に古沢美佳さん（日出・新任）を任命することに同意しました。

任期は、平成22年12月6日から平成26年12月5日までの4年間となります。

◆人権擁護委員の推薦

原案同意

平成22年12月31日に任期満了に伴い人権擁護委員に岩城道尚さん（旭町・再任）を推薦することに同意しました。任期は、平成23年1月1日から平成25年12月31日までの3年間となります。

認定

◆平成21年度一般会計

歳入歳出決算の認定

◆平成21年度国民健康

保険特別会計歳入歳出決算の認定

◆平成21年度老人保健特別会計歳入歳出決算の認定

◆平成21年度後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定

◆平成21年度介護保険特別会計歳入歳出決算の認定

◆平成21年度下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定

◆平成21年度水道事業会計決算の認定

平成21年度一般会計、国保会計、老人保健会計、後期高齢者会計、介護保険会計、下水道会計、水道会計の決算認定を「決算審査特別委員会に付託」しました。

□決算審査特別委員会の構成

委員長 河端 芳恵
副委員長 小林 一甫
委員 工藤 弘喜
" 西山由美子

□決算審査特別委員会

の審査日程
11月8日～11月12日の5日間

報告

□平成21年度財政健全化及び経営健全化の比率
報告了承認

平成21年度財政健全化及び経営健全化の比率について、8月25日に監査委員による関係

調査の審査を受け、同日付で「健全化判断

比率及び資金不足比率の算定基礎となる事項

を記載した書類は、適正に作成されていることを認めます。なお、健全化判断比率も前年

度比では、財政状況の改善方向にあり、さら

に財政健全化へ努力を続けられることに期待

しています。」との意見があったことを町長

から報告がありました。

□財政的援助団体の監

査結果報告 報告了承認

監査委員から、平成

21年度に係る財政的援助団体の監査の結果、

「補助金に関する事務については、適正に執行されているものと認め

めます」との報告がありました。

○監査実施団体

（8月26日実施）

・北訓社会教育振興会

□出納検査結果報告

報告了承認

監査委員から7月か

ら9月までの一般会計、特別会計及び水道事業

会計について例月出納検査を実施した結果、

出納事務は適法に行われ、異状ないとの報告

がありました。

◆議員の派遣 決定

議員の派遣を決定しました。

○北網ブロック町村議会議員研修会（10月21

日清里町 全議員）

町長からの行政報告(要旨)

○総務費指定寄付金について

2件の総務費指定寄付金がありました。

1件目は、8月10日に日出の松永房子様が、「日ノ出地区ふれあいセンターの維持管理経費」に使っていただきたいと100万円のご寄附がありました。

寄付金につきましては、社会資本整備基金へ積立てし有効に活用させていただくため、今町議会に補正予算を提案させていただいております。

2件目は、東町の坂本美江子様が9月1日に300万円のご寄附がありました。

寄付金につきましては、ご遺族のご意向に沿い、本年度新たに設けました地域活性化基金に積立てし有効に活用させていただくこととしております。

なお、この件に関しましては、12月の第4回定例会において、予算補正させていただきたいと考えております。



(日出 松永房子様)



(東町 坂本美江子様)

採択した請願書

○国民健康保険への国庫負担の増額を求める請願書

・請願者 訓子府農民組合 委員長 杉田重則

※全会一致で採択されました。

「議会だより」についてご意見をお寄せください。

議会に対するご意見や、議会だよりを見て感じたことなど
どんなことでも結構です。

どうぞ議会事務局までご意見をお寄せください。

☎0157-47-2184へ FAX0157-47-2600へ



議決した意見書

－議員提案により次の3本の意見書案が提出され、原案のとおり可決し、政府関係機関に意見書を提出しました。－

○国民健康保険への国庫負担金増額を求める要望意見書

1. 市町村国保への国庫負担の増額を速やかに実施すること。
2. 市町村が独自に実施している負担軽減や国保税（料）の収納率に伴う国庫負担削減の施策は行わないこと。

○森林・林業政策の早急かつ確実な推進に関する要望意見書

1. 地球温暖化防止・森林吸収源対策を推進するための安定的な財源措置の確保及び森林所有者の植林意欲を高めるための負担軽減措置等による森林経営対策を推進すること。
2. 水源のかん養など森林の有する公益的機能の重要性を踏まえ、森林の取り扱いに関する所有者の責務を明確化するとともに、大面積皆伐の抑制や伐採後に確実に植林する仕組みを構築すること。
3. 公共建築物等における木材の利用の促進に関する法律の制定を踏まえ、低炭素社会の実現に着目した公共建築物や住宅建設等における木材利用の促進及び木質バイオマス利用など国産材の利用を拡大すること。
4. 持続可能な森林・林業の確立に向けて、森林計画の作成や施業の集約化を担う人材及び現場事業の担い手などの育成確保を図るとともに、森林整備に要する経費の定額助成を実施すること。
5. 国民共有の財産である国有林については、公益的機能の一層の維持増進を図るとともに、森林・林業政策の推進に貢献するため、国による一体的な管理運営運営体制を確立すること。

○道路の整備に関する要望意見書

1. 高規格幹線道路ネットワークの早期形成を図るため、整備中区間の早期供用を図るとともに、抜本的見直し区間の未着手区間や基本計画区間などについて早期の事業化を図ること。
2. 高度成長期に整備され老朽化した道路施設の長寿命化に係る費用に対する支援の拡充を図ること。
3. 冬期交通における安全性の確保、交通事故対策、自然災害時の交通機能の確保など、地域の暮らしを支える道路の整備及び維持に必要な予算額を確保すること。
4. 平成23年度から段階的に実施するとされている一括交付金の制度設計の際には、道路整備に関する地域のさまざまな課題に対応できるよう制度を充実するとともに必要な予算額を確保すること。
5. 事業評価にあたっては、地域からの提案を反映させるなど、救急医療、観光、災害対策など、地域にもたらされる多様な効果を考慮し、総合的な事業評価手法となるよう検討すること。
6. 地方の財政負担の軽減に資する地方道路整備臨時貸付金制度の維持・拡充を図ること。

一般質問

6名の議員が町長、教育長に一般質問を行いました。

(イラスト・西山 舞)

町有施設内の設備の管理状況は

町長

必要に応じ、点検している



川村 議員

川村 町有施設内の設備の管理状況は。

町長 庁舎建設から9年経過し、当時設置した設備は、必要に応じ、業者による点検と町職員による目視、触診をしています。

川村 私も血圧計などを利用してはいますが、数値の誤差が大き過ぎるので信頼できない。
町長 健康チェックができるように設置した



庁舎建設時から設置している健康医療器具

ものですから、安心して利用いただけるように努力しています。

川村 他町村では公園などで遊具によるケガが発生していますが、本町ではないのか。

町長 本町では、11カ所に遊具などを設置しているが、ケガなどの報告は受けていません。なお、楽しく安全に遊べるよう適正な維持管理に努めています。

町長

町有地売却価格は高くないか

地価調査価格の下落率を乗じ算定

川村 現在の景気の悪さなどを考慮した時に売払いは可能か。

町長 町広報、新聞折り込みチラシで周知し、約一カ月の期間で購入

この時、行政側が道路パトロールをしていたと説明、後に寝ていてパトロールを実施していなかったと報道された。

本町では、点検業務は、正しく行っているのか、行っていないのに行っていると言っていないのか。

町長 道議会では、知事が謝罪していました。本町では、チェック体制をきちんとつくり万全の体制でやっています。



売却を進めている町有地

希望者はいません。

川村 土地の有効利用を考えたのか。

町長 JAの整備工場などには、駐車場も利用できるかと考え話し合いをしましたが、購入の意欲がないとの回答を得ています。

川村 日照率で日本有数と言われる訓子府町で、この土地に太陽発

電システムを考えられないのか。

町長 住宅地に近く無理があると考えます。

川村 住宅地に近い狭い土地を利用した発電装置を日本中に発信してはどうか。

町長 発電システムについては、考えてみたが、現況の土地では、考えられません。

本町に所在不明の高齢者は

町長

住民登録上の不明者はいない



河端 議員

河端 全国各地で所在不明の高齢者が問題になっていきます。

北海道新聞の記事で

本町は、調査が膨大なので手をつけていないとのことでしたが、今後の対応は。

町長 本町は、戸籍が電算化されておらず手

作業で一件一件の調査なので、その時点では調査していません。

説明しました。

その後、調査したところ住民登録がされていて所在不明者の高齢者はありません。

本町に戸籍がある方は約3千世帯あり百歳

住民基本台帳カード



住民基本台帳カード

以上で所在不明者は43名いました。これは海外移住などで必要な届出がされず戸籍がそのままになっているケースがほとんどであると考えられます。今後の処

理は、釧路地方事務局と協議していきます。

河端 戸籍の電算化のメリットとその費用はどの位か。

町長 現在戸籍簿は紙ですが、劣化が進んでおり法務局から電算化の要請がありました。

電算化すると管理や交付がしやすくなるが約5千万円の費用がかかり、国からの補助金も起債もなくきついです。

資金の積立などをしながら、できるだけ早く電算化に向けていきたいと思っています。

河端 住民基本台帳は年金や税金・選挙などの行政事務の元になっていますが、個人情報保護法の壁があり行政内部でも情報が得られ

ず、的確な住民サービスが受けられないなどの弊害はありませんか。

町長 各種事務事業の対象者の把握にあたり個人情報保護審査会に諮り承認をいただいているので弊害はないと考えています。

河端 最近では、金融機関や役場窓口などでも身分証明書の提示を求められることが多くなりました。

顔写真付きの住民基本台帳カードは、身分証明書としても有効です。

高齢者など、自動車運転免許を自主返上された方に、無料で交付するなどの考えは。

町長 免許証を返還された方に特典的に渡すことがいいのか、一定の平等公平の原則で配布するのがいいのか検討していきます。

一口メモ 戸籍と住民基本台帳

戸籍は、戸籍法に基づき、出生や親子関係、婚姻関係など「人の身分関係を公証」する。
住民基本台帳は、住民基本台帳法に基づき住所、世帯構成など「居住関係を公証」するもので、福祉や税金、選挙などの行政事務の基礎資料となる。

子宮頸ガンなどの予防接種の考えは

町長

来年度に何らかの形で補助したい

河端 様々な病気の解明が進み、早期発見早期治療が可能になっています。

町が行う各種健診は懸命な努力にもかかわらず国保の特定健診の受診率は下がっています。

国は平成24年度までに受診率65%を目標としていますが、どのように進めますか。

町長 健診の回数を増やしたり、小さな子がいる人のために託児を設けていますが、今後より一層PRするなどして受診率の向上に

向け努力します。

河端 国が推奨している子宮頸ガン・肺炎球菌・おたふく風邪・水痘などの予防接種の助成の考えは。

町長 子宮頸ガン予防ワクチン接種は、23年度に、国や道も助成に向け検討しているので本町でも何らかの形で補助したい。

その他の予防接種は11月に出される国の「ワクチン評価に関する小委員会」の報告により方向性を見極めていきます。

町民目線の行政サービスのあり方は

町長 住民の視点に立つて物事を考える



西山 議員

西山 行政サービスとは、地域住民が一生涯安心して快適に暮らすことができるように、自治体が行うサービスです。

町民の日常生活にかかわる、様々な分野に及んでいて、公平公正であり、公共の福祉に反してはならないという性質を持っています。さて私たちの町の行政サービスは、町民の幸せにしっかりと結びついているのか伺います。人口減少と高齢化そして財政難の中、今後各種サービスの見直しも含めて、どこに力を入れていくつもりですか。

町長 人口減少と高齢化という社会構造は、全国的な問題でもあり

むしろ前向きに、少子高齢化社会にふさわしい政策づくりとその実現に向けた、行政サービスを展開する必要があります。

特に「定住」と「活性化」の視点に立つてこの町に住んで本当に良かったと実感でき、人・産業・コミュニティなど地域全体が元気になるような行政サービスを提供し、町民と相互に補完し合いながらサービスの質を高めていきたい。

そして財源の効果的な活用にも配慮し、行政サービスの充実に努めたいと考えています。**西山** 町民目線のサービスが重要ですが、実態をどうとらえていますか。

町長 例えばこの4月から試験運行している「乗り合いタクシー」は、全世帯アンケートや若がり学級での意見聴取など、町民ニーズを把握した上で実施しました。

10年間の総合計画も様々な町民の意見を聴きながら策定しました。町民の実態把握に基づいた町民目線のサービスを基本に町政運営をこれからも取り組むつもりです。

西山 乗り合いタクシーの現在までの実績は。

町長 8月末までの利用登録者数は256名、利用状況は延べ142回、利用人数は20名、年齢は60歳以上で、平均年齢は82歳、月平均30回程度利用されています。

ます。

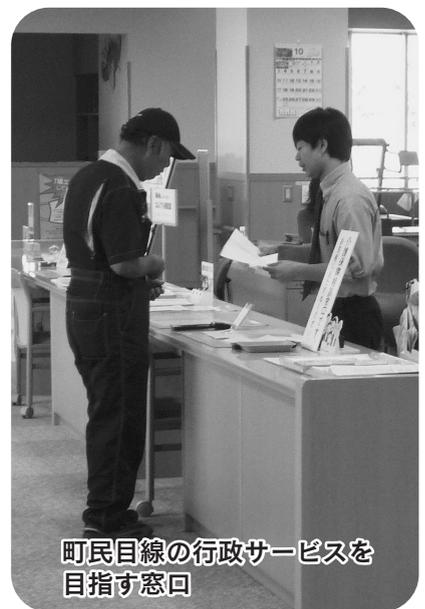
西山 来年から午前中の利用は可能ですか。

町長 残り半年の状況を見て業者と検討していくつもりです。

西山 わかやすいサービスの周知法と相談しやすい窓口業務のあり方は。

町長 行事などの周知は、「広報」「町からのお知らせ」「まなべル」を通じて広くお知らせしています。

相談窓口については、特定の案内窓口は設置してませんが、どの職員も状況をお聞きして必要とする部署に



町民目線の行政サービスを
目指す窓口

親切に案内できるように配慮しています。

西山 サービスマンとしての職員にどのような意識や仕組みづくりを求めますか。

町長 「住民の視点に立つて物事を考える」と、さらに公平、スピード、住民を知ること、さらにも付加され、それなりの知識、経験、努力が必要と考えています。しかし、これはなかなか難しいもので仕組みづくり以前に、人や周りに対する気配りや思いやりに対する意識をさらに育てなければならぬと考えています。

一般質問の記事掲載について

一般質問の記事については、一質問者につき二問までを掲載し、内容を要約しています。

その他の質問事項や詳しい内容については、会議録をご覧ください。

会議録は図書館に備えつけてあります。また、町ホームページにも掲載しております。

故障中の庁舎空調設備の改修は

町長 来年稼働に向け調査し検討する



上原 議員

上原 平成13年22億6千200万円で建設した密閉型庁舎の冷房設備が、平成20年故障して以来使用されていない。

職員的能力を十分に発揮してもらうためにも、夏場の庁舎内環境への配慮も必要と考え、次の点について、町長の考えを伺いたい。

①現状で職員の健康及び事務的能率への影響について ②現状改善の考え方 ③早急な対策を取れない時の、将来的な対策について。

町長 庁舎内温度は、外気に比べて1階で2度・2階では2〜3度高く、教育委員会管理課では更に1〜2度常時高い状況にあり、来庁する住民からの苦情

もありました。

職員については、熱中症が原因と思われる体調不良が4名いたが、即日回復し、暑さによる業務効率の悪さは多少ありました。

当時、冷房装置破損修理に1千万円程度要する議会報告もしました。

夏の暑さをしのぐため、工場扇や冷風機また一部はエアコン設置を行っています。

本庁舎は、気密性確保のために通風の窓は無いなど構造的な問題から、室温を下げるのは難しい状況にあり、今年の暑さを考えると、

来年に向け冷房装置を稼働させる方向で調査検討します。

上原 町内の仕事確保も含め、雪を利用した対応など、将来的な考えについては。

町長 利雪エネルギーは、経費の面からも現



空調設備の改修を検討する庁舎

状は考えられません。

新エネルギーの活用は時代が求めており、ソーラーパネルの利用など自然エネルギーへのシフトは考えなければ

なりません。

今後更新する施設も多く、住民の自然エネルギー活用補助も含め考えなければなりません。

農作物の鳥獣被害の現況と対策は

町長 ハンター育成急務、経費助成も検討

上原 被害の拡大は、全道的なものであり、農家経済に大きな打撃を与えている。道・国への対策要請も含めて次の3点について町長の考えを伺いたい。

①鹿柵設置効果と鳥獣被害の現況 ②狩猟に係る実態と今後の対応 ③広域的な取り組みへの考え方と対策は。

町長 平成16年の農作物被害は、64・5ha約5,500万円、平成20年は、34・7ha約2,400万円となっております。鹿柵の設置効果はあります。

昨年より、農家から

猟友会に直接駆除を要請できるよう見直ししました。

町として種々検討した結果、被害当事者自らが、作物を守る意識をもって狩猟免許を取得する必要があると考えます。

猟銃取得に係る経費助成も検討し、緊急対策として、罠の狩猟免許取得と併せ町が罠の貸出を行うための補正予算を定例会に提案しました。

広域的取り組みは必要と認識しており、オホーツク総合振興局と協議し具体的検討を進めます。

鳥獣保護区等における狩猟を可能にするため、町村会と連携し北海道に要請します。

今後、猟友会の意見を聞きながら駆除について取り組みます。

鹿食害防止には、個体数を減らすことが基本で、ハンターの育成が急務です。猟銃所持や狩猟免許取得には、多額の費用と、大きな管理責任を伴うなど容易ではありません。

国待ちにならず生活支援や経済振興を

町長 緊急的補正は必要によって検討

工藤 7月末に今年度の普通交付税と臨時財政対策債が決定したが、

大多数の市町村で当初予算計上した以上に大幅な増となったと聞いているが、本町の確定した普通交付税と臨時財政対策債の額はいくらになったのか。

町長 普通交付税については、予算額19億円に対して約1億6,000万円多い20億6,000万円、臨時財政対策債発行可能額は、予算額1億6,000万円に対して約7,000万円多い2億3,806万2千円となつています。

工藤 普通交付税などの決定を受けて、補正予算の検討がされているかと思うが、補正予

算の基本的な考え方について伺いたい。

町長 現在、交付税と対策債合計して2億3,000万円が留保されており、使途としては、基金積立などにより、今後想定される少子高齢化を見据えた各種施策の財政基盤確保に努めます。

補正予算については、現在、国で検討している景気浮揚対策の詳細が明らかになった段階で、それらの事業を活用した対応を検討します。

工藤 町民の側からするとこれによって生活支援や経済振興が見えてこない。町長の言われるまちづくりに向けての迫力が失われるのではないか。国待ちに



工藤 議員

ならず検討していただきたい。

町長 交付税の活用については、全体の一定

一口メモ 臨時財政対策債とは

地方債の一種。国の地方交付税の財源が不足し、地方交付税として交付すべき財源が不足した場合、その穴埋めとして、地方公共団体自らに地方債を発行させる制度。償還に要する費用は後年度の地方交付税で措置される。

住宅リフォーム助成制度実施の見通しは

町長 平成23年度実施に向け内部検討を

工藤 今年度第1回定例会で、「住宅リフォーム助成制度」について質問してきたが、その後どのような検討状況になっているか。

町長 関係する企画財政課、建設課、農林商

期間を見通しながら、計画的な予算構築を図っていかねければならないと考えます。

緊急的な補正については、今後、12月に向けて、必要によっては検討することには変わりありません。

は必要であり、実施時期については、公共事業が減少する平成23年度が適当との報告がありました。

商工業振興上、必要不可欠なものとして認識しており、商工業者にとって、より効果的な制度とするため、商工会としての議論と提案をいただくよう申し入れたところ です。

工藤 制度を実施するうえでの課題はあるのか。

町長 一つ目として、予算で事業費上限枠を設定することの可否。二つ目として、町内外業者の工事費の価格差の問題であり、町外の大規模店とは競争にならない可能性があるため、この価格差を埋めるような制度設計が求められます。

工藤 助成制度実施の見通しについては。

町長 まずは商工業振



今年度、リフォームされた町有住宅

興のための組織である商工会からの提案をもとに検討させていただきたいが、平成23年度の実施に向け、内部検討を具体化していきます。

工藤 議員は、この他に「町営住宅等の今後の整備計画について」の質問がありました。

次期出馬を考えているのか

町長

年内中に所信をはっきりしたい



小林 議員

小林 来年度は地方統一選挙の年になるが、次期出馬を考えているのか伺いたい。

町政の課題解決と町民の福祉向上のために全力投球で、町政運営にあたりますので、ご理解

解とお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

町長 私は、平成19年5月以来3年5カ月の間、町民の皆様や議員各位の力添えをいただき、ここまで町政を担ってまいりました。

マニフェストに掲げた9項目と2つの約束これらの到達点と課題については、いずれ私なりの総括をさせていただきますきたいと考えているところです。

次期出馬については町民の皆様や後援会の皆様とも相談しながら遅くとも年内中に私の所信をはっきりさせたいと考えております。いずれにいたしましても、残された任期を

平成23年度の予算編成の重要課題は

町長

必要事業の選択実施を基本とする

小林 平成23年度の予算編成の時期になるが編成にあたっての重要課題、項目はなにか伺いたい。

町長 本町の財政状況

につきましては、普通交付税などが回復傾向にあることや20年度以降の国の景気浮揚対策交付金を活用し、本来一般財源を充てる事業を振り替え実施できたことなどから比較的順調に推移しておりますが、自主財源が乏しい

状況の中、国の施策により財政状況が左右される状況は変わっておらず、引き続き堅実な運営を進める必要がありますと認識しております。

予算編成に当たりましては、平成19年に町長就任以来、財政健全化プランの着実な実施を図りながら、住民ニーズを的確に把握し、新規事業を含め町民の皆様に必要な事業を選択実施することを基本としてまいりました。



次年度以降につきましても「町民の誰もが住み続けることができ、心やさしいまちづくり」の実現に向けて実施すべき施策・重要な課題は多いと認識しておりますが、平成23年度は、ご承知のとおり町長選挙の年に当たり

骨格予算となりますので、ここで踏み込んだ施策についてはお答えできないことをご理解願います。

小林議員はこの他に「教科書のデジタル化の考えについて」の質問がありました。

第3回定例会は、12名の傍聴がありました。

議会を傍聴しましょう

議会中の議場の様子を庁舎1階町民ホールにおいて、テレビでも放映しています。

平成22年第4回定例会は12月中旬頃に開催する予定です。議会傍聴に関するお問い合わせは、議会事務局 ☎47-2184へ



所管事務調査を実施

総務文教、産業建設の各常任委員会では、議会閉会中も開催され、所管事務調査などの調査活動を行っています。

総務文教 常任委員会

□7月22日

○所管する事務について、担当者から提出された資料の説明を受け、調査を実施。

○調査項目

入札執行状況／今後のまちづくり／町税の収納及び賦課状況／国民健康保険事業の運営／各種福祉政策／各種予防業務／保育園、幼稚園の運営／図書館、歴史館の管理運営

産業建設 常任委員会

□7月20日

○所管する事務について、担当者から提出された資料の説明を受け、調査を実施。

○調査項目

農業振興／畜産振興
温泉保養センターの

□8月20日

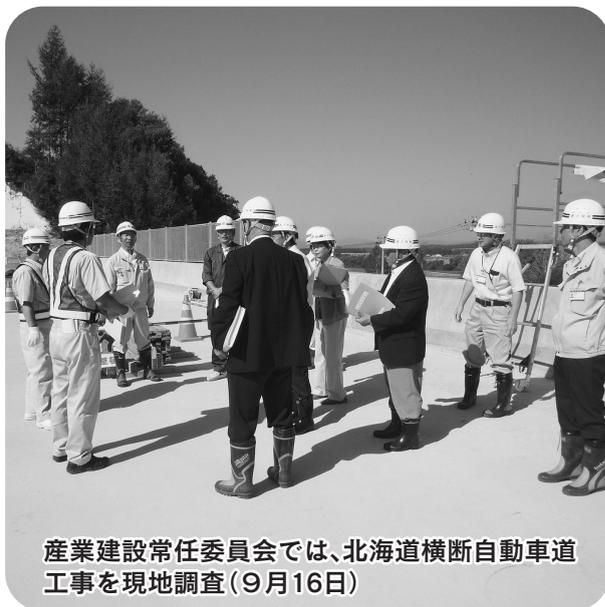
○所管する事務について、担当者から現地での説明を受け、調査を実施。

○調査項目

訓小、居小体育館耐震補強工事／町有住

○調査項目

北海道横断自動車道工事／太平線他2路線道路整備工事／豊坂の沢治山工事／温泉保養センター／大谷水系導水管復旧工事（資料説明）



産業建設常任委員会では、北海道横断自動車道工事を現地調査（9月16日）

宅改修工事／町道の補修

□9月16日

○所管する事務について、担当者から現地での説明を受け、調査を実施。

年賀のあいさつ状を 失礼します

公職選挙法により、町議会議員の公職にある者は、当該選挙区内の方に対して答礼のための自筆によるものを除き、年賀状等のあいさつ状は禁止されていますので、ご理解をいただきますようお願いいたします。

訓子府町議会 議員 一同

郵便はがき



年賀

□□□□□□□□

訓子府町民の皆様へ

報告 道内先進地行政視察

富良野市視察(8月24日)

富良野市が全国的に知られるのは、テレビドラマ「北の国から」が放映され、旅行者が

フラノ・マルシェ開発事業（平成21年度中心市街地商業等活性化支援事業）を実施している富良野市は、冬型観光はスキーのまちとして有名だが、夏の観光は、乏しく北海道の中心とのことで北海へソ踊りとラベンダーなどがあります。

富良野市が全国的に知られるのは、テレビドラマ「北の国から」が放映され、旅行者が

多訪れ、一大観光地に変貌し、年間200万人を超えるまちなになりました。

しかし、まちを素通りする観光客をいかに中心市街地に取り込む拠点をつくり、来町者を増やし「まちな観光」の情報機能を充実させ、商店街と連携を図りながら街中回遊を促進しました。

歩行者数の増加を目指し、中心市街地全体の活性化につながる目的で「ふらのまちなづくり株式会社」を約3億円で設立しました。



フラノ・マルシェの事業概要などの説明を受ける

それをうまく生かしていくことが最も大切ではないかと我が町でも大いに参考になりました。

(橋本)

上富良野町視察(8月23日)

上富良野町は、十勝岳の麓にある、人口約一万二千人の農業と自衛隊の駐屯地がある町です。

上富良野町では、平成19年度から町税等の滞納者に「行政サービスの制限措置等に関する条例」を制定しました。

同時に納税等の利便性を図るためにコンビニ二取納も導入しました。今のところこの条例の適用は無いとのことですが、町民の納税意

識の向上につながっているようです。

また、国保の特定健診の受診率が高く、平成20年度は、71%（訓子府町は36%）でした。担当者はもとより、町をあげて取り組む姿勢は、見習いたいものです。

(河端)



上富良野町での町税等の滞納対策等の説明を受ける

議会広報研修会

8月20日、議会広報研修会が札幌市で開催され、道内89町村から373名の参加があり本町から河端と小林議会事務局員が参加しました。

講師は長年議会広報に携わってきた、広報コンサルタント 深沢徹氏で「議会広報・改革への提言」と題して講演があり、その後8町の広報誌を見ながら具体的な解説がありました。

「議会広報の改革こそ議会改革」との氏の話は説得力があり議会広報の役割の重さを改めて感じました。

より一層読みやすく親しみやすい議会広報をめざします。

(河端)

